

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会

令和2年度第1回 グループディスカッションの実施について

1 目的とねらい

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会では、14名の委員による運営委員会を立ち上げ、地域包括ケアシステムの第2段階の展開に向けて、取組を推進しております。

この連絡協議会では、多様な参加者同士の意見交換を通じて地域での連携の可能性を模索し、参加者同士が「顔の見える関係」になり、川崎市の地域包括ケアシステムの担い手として、地域でご活躍いただくことをめざしています。

2 実施の考え方

本グループディスカッションの考え方は次の通りとします。



① 地域包括ケアシステムに対する「考え方」や「意見」を集約します

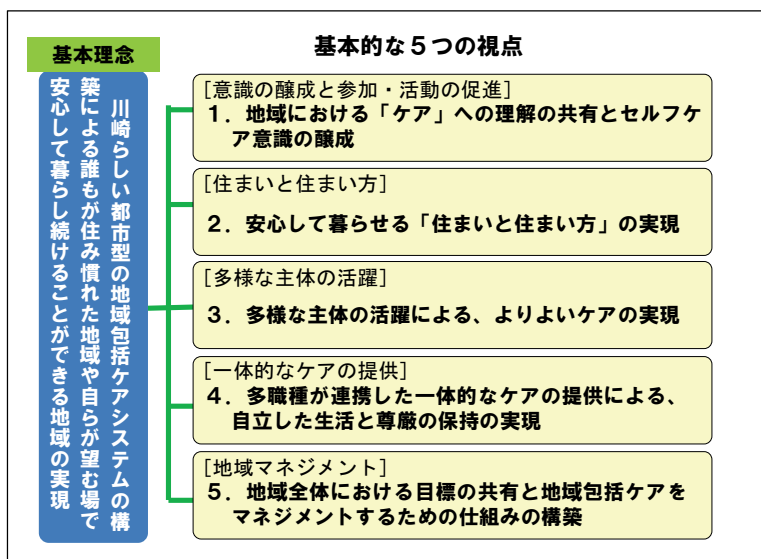
自らが地域包括ケアシステムの担い手と意識できるよう、地域包括ケアシステムの「考え方」や「意見」をカテゴリーごとにまとめます。

② 参加者による「全員参加型」で行います

事業者、企業、大学、住民団体、住民など、多様な参加者が互いに気後れせず、また対等に話し合いに参加できるよう、『自分の立場を考える時間をもつ』・『発言しやすい雰囲気をつくる』・『他人の発言をよく聴く』というルールで話し合いやすい雰囲気を醸成します。

3 連絡協議会のテーマについて

「地域包括ケアシステム推進ビジョン」の基本的な視点を参考として設定することとしたい。



「意識の醸成と参加・活動の促進」をテーマに平成31年2月と令和元年9月に実施

「住まいと住まい方」をテーマに令和2年2月に実施

※今回(令和2年8月)は、今般の新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、今後の地域での活動をテーマにディスカッションを開催します。

4 実施方法

(1) テーマ

「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた今後の地域での活動について」

(キーワード)

「新しい生活様式」

政府の専門家会議により、新規感染者数が減り、対策を緩められるようになった地域においても、感染拡大を予防するための「新しい生活様式」が必要として、①一人一人の基本的感染対策、②日常生活を営む上での基本的な生活様式、③日常生活の各場面別の生活様式、④働き方の新しいスタイルについて、具体的な例が示されています。

(2) 実施手法

グループディスカッションでの話し合いは、今回は、「3密」の回避等の対策を講じて開催するため、運営委員の方を中心に、ファシリテーターになっていただき、話し合いをしていただきます。

(3) グループニング

8名程度のグループに分けます。

テーマの内容を踏まえ、各グループは、事業内容または業態が近い団体で構成しています。

(4) ファシリテーター・記録

各テーブルに、運営委員の方を配置し、ファシリテーターを担当していただきます。ファシリテーターの補佐役として、各区の行政職員も同席しています。

(5) タイムテーブル

別添のとおり

(6) まとめ方

出された意見は、グループごとにまとめ、後日、報告書としてまとめます。

グループディスカッション終了時にはアンケート用紙に、参加した感想や懇談会での話しかれなかった思いをご記入下さい。

※「情報交換シート」については、前々回、前回と連絡協議会の場で情報共有を図ってきましたが、今回は、事前に同意をいただき、リスト化したシートを共有しています。

＜タイムテーブル＞

	内 容
18:00～	市長挨拶
18:05～ 18:15 (10分)	川崎市における地域包括ケアシステムの取組状況 「川崎市における地域包括ケアシステム構築の取組」 (説明者) 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室担当課長 長井 武志
18:15～ 19:00 (45分)	基調講演 「(仮) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた今後の地域での活動について」 (講演者) 川崎市健康安全研究所 岡部 信彦 所長 ※「新型コロナウイルス感染症対策分科会」構成員
19:00～ 19:05 (5分)	グループディスカッション全体の流れの説明 全体の流れ、グループディスカッションのルールについて説明。 (説明者・進行役) 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室室長 鹿島 智
19:05～ 19:15 (10分)	自己紹介・アイスブレイク 1人30秒程度で自己紹介をしていただく。 ※テーマ：コロナ禍での「最近のストレス解消法」
19:15～ 19:45 (30分)	グループディスカッション 「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた今後の地域での活動のあり方」について、それぞれ参加されている方からお話をいただき、グループでのお話の中から、話し合いをするテーマを1～2つ決めて、それぞれに意見交換を行っていただき、内容をまとめていただく。
19:45～ 19:55 (10分)	報告 1グループ1分を目途に、今後の地域での活動について、各グループから報告していただく。
19:55～ 20:00 (5分)	全体講評 埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授の田中滋先生から講評をいただく。
	閉会・今後の予定について(アンケートへの記入)